

かながわ京浜臨海部ニュース

平成26年8月号

今号のINDEX

- ・ 理化学研究所横浜キャンパス・横浜市立大学鶴見キャンパス 一般公開のお知らせ p 1
- ・ 羽田空港への新たなアクセス ~羽田 みなとみらい間に定期航路が開通!~ p 2
- ・ 京浜臨海部企業のご紹介 川崎オキシトン(株) 川崎工場 p 2
- ・ 「川崎国際環境技術展2015」出展者の募集を開始しました p 4
- ・ 「京浜臨海部立地企業動向調査」へのご協力をお願い p 4

“深く知り、広く楽しむ。科学と出会う、年に一度の特別な日”

~理化学研究所横浜キャンパス・横浜市立大学鶴見キャンパス 一般公開のお知らせ~

理化学研究所横浜キャンパスと横浜市立大学鶴見キャンパスは、科学技術週間の行事の一環として、9月6日(土)に一般公開を行います。一般公開は、理化学研究所横浜キャンパスと横浜市立大学鶴見キャンパスが取り組んでいる研究活動やその成果をご覧いただき、最先端の科学研究に親しんでいただくことを目的として、年に一度開催されるイベントです。当日は、研究者による講演会や、最先端の研究を支える施設の見学、体験を通して学ぶ実験イベントなど、皆さまに楽しんでいただける各種催しを行います。お誘い合わせの上、是非ご来場ください。

日時：平成26年9月6日(土) 10:00~17:00(入場は16:30まで) 入場無料

主な実施内容：

講演会

「感染症と免疫の話」、「新元素探索の最前線」、「『ラン藻』を使って、光と二酸化炭素からものづくりをしてみる」、「薬はどのようにつくられるのか?」ほか、計5課題の講演を実施

体験イベント

「いろいろな顕微鏡で体験!植物のミクロな世界」、「DNA 鑑定~科学捜査で犯人を見つけよう~」、「竜巻を作ろう!」などの体験イベントを実施

施設公開

分子の立体構造を解析するNMR施設公開「世界最大級のNMR施設大公開!」や、DNAの個人差を調べるSNPタイピング施設公開「目で見える遺伝子の違い:遺伝子解析の現場から」ほか、いろいろな実験施設をご紹介します



世界最大級のNMR施設を見学できるチャンス!

交通アクセス：

当日はJR・京急鶴見駅前 理研・市大一般公開会場間の無料シャトルバスを運行します。JR鶴見駅東口(10番バス乗り場)発は9:40~15:25まで、5~15分間隔で運行します。お車でのご来場はご遠慮ください。

【一般公開ウェブページ(日本語・英語)】

<http://www.yokohama.riken.jp/openday2014>

問い合わせ先/

独立行政法人理化学研究所横浜事業所研究支援部

電話：(045)503-9111(代表)

公立大学法人横浜市立大学鶴見キャンパス事務局

電話：(045)508-7201(代表)



羽田空港への新たなアクセス

～羽田 みなとみらい間に定期航路が開通！～



羽田空港から横浜へは、京浜工業地帯を眺めながら船でアクセス。この夏、羽田空港と横浜方面を結ぶ新たな交通手段が誕生しました。

クルージング事業等を行う(株)ケーエムシーコーポレーションは、横浜みなとみらい 羽田空港 お台場を結ぶ定期航路を取得、平成 26 年 7 月 20 日から運航を開始しました。羽田空港から横浜方面へ向かうルートをご紹介します。

まず、羽田空港船着場を出発した船は、東京湾へと向かいます。この間、船のデッキからは飛行機が真上を通過していく様子が見られるので、航空ファンでなくても興奮すること間違いありません。

その後、船は浮島外周に沿って進み、京浜運河に入ります。ここからは、言わずと知れた京浜工業地帯。船の両サイドに迫力のある工場やタンク群が次々と現れ、ずっと眺めていても飽きることがありません。そしてクルーズ終盤、大黒ふ頭やベイブリッジを横目に、船はみなとみらいのぶかりさん橋に到着します。

片道約 90 分、当面は日曜日だけの運航ですが、徐々に便数を増やしていきたいとのこと。羽田アクセスと観光要素を兼ねた新たな選択肢として、今後注目が高まりそうです。



迫力満点の京浜臨海部の工場群。島ごとの特徴を見つけながら進むのも楽しい

問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課 電話：(045)210-3255

(羽田定期航路の詳細については、(株)ケーエムシーコーポレーション(045-290-8377)にお問い合わせください)

京浜臨海部企業のご紹介 - 川崎オキシトン(株) 川崎工場

横浜市鶴見区・神奈川区、川崎市川崎区にまたがる京浜臨海部。このエリアには、石油や鉄鋼、化学など長年にわたり日本経済を牽引してきた重厚長大産業はもちろんのこと、近年では環境・ライフサイエンスや多様な発電施設など、様々な企業が集積しています。

「かながわ京浜臨海部ニュース」では、京浜臨海部に立地する企業や、そこで働く人々をご紹介します。今回は、川崎オキシトン株式会社 川崎工場にお邪魔しました。

空気から製品を生み出す

京浜急行大師線の終点・小島新田駅から徒歩数分、川崎市川崎区小島町の幹線道路沿いの敷地に、背の高い白いタンクがそびえ立っているのが見えてきます。川崎オキシトンの川崎工場です。



こちらの工場では、各種産業に欠かすことのできない、酸素や窒素、アルゴンといった産業ガスを製造しています。社名の「オキシトン」は、“オキシジェン（酸素）” + “トン（トン単位で生産）”が語源となっているそうです。



産業ガスの製造工程を説明する北原工場長

「作っているものが目に見えないから、工場を見ていただいてもあまり面白くないんですよ」と話すのは、工場長の北原和孝さん。これらの製品ガスの原材料となるのは「空気」。一体どうやって、空気から産業ガスを作るのでしょうか。北原工場長に伺いました。

「まず、空気圧縮機で空気を圧縮して、空気中のゴミや水分などを除去します。その後、空気分離装置で空気を液化させ、酸素・窒素・アルゴンの各々のガス・液体へと分離させます。空気は、圧縮すると熱が出て、膨張すると温度が下がります。この性質により空気を液化し、酸素・窒素・アルゴンの沸点の違いを利用して、各種産業ガスを取り出しているんです」

こうしてできた産業ガスは、パイプラインを通じて京浜臨海部コンビナートの各工場に供給されています。例えば、酸素は鉄鋼を溶かす製鋼用として、窒素は可燃性原料を使用する化学工場等の保安用として、コンビナートになくてはならないものです。また、液化ガスは、いったんタンクに貯蔵された後、ローリーに積み込まれ関東各地に出荷されます。例えば、液化窒素は半導体工場等で酸素遮断用として、液化酸素は病院等で医療用としても使用されています。

コンビナートの“縁の下の力持ち”

いわば、京浜臨海部コンビナートの“縁の下の力持ち”のような存在の川崎オキシトン。昨今のコンビナートを取り巻く国際的な競争環境の激化を、どう見ているのでしょうか。

「石油製品や化学製品と違い、酸素や窒素を外国から輸入するという事は通常ないので、我々自身が直接海外企業との競争にさらされるというわけではありません。しかし、パイプラインを通じて製品を供給している各需要家企業が元気でないと、我々の事業も立ち行かない。そういう意味で、コンビナートの国際競争の激化が、当社にとって大きく影響してくることは間違いないでしょう」

最後に、京浜臨海部コンビナートの中で自社の果たす役割についてお聞きしました。

「我々の役割は、産業ガスの供給により、コンビナートの発展を間接的に支えることです。安定供給が絶対使命であり、どんなことがあっても供給を途絶えさせてはいけません。そのためにも普段から周辺企業とコミュニケーションをよく取って、一緒にこのコンビナートを守っていきたいと思っています。」



問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課

電話 : (045)210-3255

「川崎国際環境技術展2015」出展者の募集を開始しました

日本の環境技術が集積している川崎市では、企業等の有する優れた環境技術を急速に工業化が進むアジア地域を中心に広く世界に情報発信し、環境技術の移転による国際貢献を進めるとともに、国内企業間の交流も促進して、環境分野での産業の活性化を目指しています。昨年度に引き続き、「川崎国際環境技術展2015」の開催を決定し、出展者の募集を開始しましたのでお知らせします。

過去6回の開催経験を十分に活かし、これまでの内容に加え、企画展示では災害対策に役立つ環境技術を紹介する展示を予定しています。

日 程 平成27年2月5日(木)・6日(金)

両日とも 10:00～17:00

会 場 とどろきアリーナ

(川崎市中原区等々力1-3)

主 催 川崎国際環境技術展実行委員会

出展分野 「環境改善技術」

「廃棄物・リサイクル技術」

「新エネ・省エネ技術」

「企業等の環境への取組」

「国際関連」

「産学官連携の取組」

来場規模 約15,000人(関連イベント含む)

出展申込方法 川崎国際環境技術展ホームページから
お申込みください。

<http://www.kawasaki-eco-tech.jp>

募集締切 平成26年10月17日(金)

今、かわさきから世界に伝えたい、環境技術。
川崎国際環境技術展2015
Kawasaki International Eco-Tech Fair 2015

出展のご案内 申込締切:10月17日[金]

Eco Tech Fair 2015 Kawasaki

2015年2月5日(木) 6日(金) [10:00～17:00]
とどろきアリーナ 神奈川県川崎市中原区等々力1-3
入場無料

主催 / 川崎国際環境技術展実行委員会

「川崎国際環境技術展」は、これまでの川崎の発展への取組や国内外の企業の有する優れた環境技術、先進工業に集め込まれた環境技術等の情報を川崎の海から広く国内外へ発信し、世界中に広がる環境技術・製品等を有する企業と国内外の企業家とのビジネスマッチングの場を提供することで、環境分野での産業発展、技術移転による国際貢献の促進を目指して開催します。

出展申込みは、ホームページへアクセス。
<http://www.kawasaki-eco-tech.jp> **かわさきエコテック**

問い合わせ先 / 川崎市経済労働局国際経済推進室 電話:(044)200-2335

「京浜臨海部立地企業動向調査」へのご協力をお願い

神奈川県・横浜市・川崎市では、京浜臨海部の活性化を図ることを目的に、「京浜臨海部再編整備協議会」を組織し、3団体で協調して共通課題の検討や広報活動に取り組んでいます。

協議会では、京浜臨海部に立地する約750の事業所を対象に、「京浜臨海部立地企業動向調査」(アンケート調査)を実施します。この調査は、事業所の事業活動状況や事業を進める上での課題などについて把握し、今後の行政の取組に活用させていただくことを目的に実施するものです。

協議会から委託を受けた受託業者(株)日本能率協会総合研究所)の調査員が、平成26年8月下旬頃から皆さまの事業所にお邪魔し、アンケート調査票を配付させていただきます予定です。アンケート調査票は、9月頃にかけて調査員が回収に伺いますので、回収予定日までにご記入くださるよう、ご協力をお願いいたします。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査対象となった事業所におかれましては、ぜひとも調査にご協力くださるよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課(協議会事務局) 電話:(045)210-3255

編集・発行

神奈川県政策局自治振興部地域政策課 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 (045)210-3255 ファクシミリ (045)210-8837

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/div/0602/>

(お問い合わせは、こちらのホームページ下部の「お問い合わせフォーム」からお願いいたします。)